

取扱説明書

ダクタイトル製リフト逆止弁

DC-407L



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目次

1.	概要	2
2.	製品名	2
3.	サイズ	2
4.	使用範囲	2
5.	構造と特長	3
6.	運搬および保管	3
7.	配管要領	3
8.	使用上の注意	3
9.	点検および保守	4
10.	分解・組立要領	4
11.	交換部品	5
12.	アフターサービス	5
13.	構造図	6

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。
本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用くださいますようお願い致します。
また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

1. 概要

逆止弁は、液化石油ガスおよび一般高圧ガス設備の配管系の逆流を防止するバルブです。

2. 製品名

品名	ダクタイル製リフト逆止弁
型式	DC-407L
図面番号	B-47042(15A~50A)
	B-47852(80A)

3. サイズ

15A、20A、25A、40A、50A、80A
(注)呼びはフランジサイズです。

4. 使用範囲

取付け前に、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

(1) 使用流体	LPG(液、ガス)
(2) 設計圧力	2.35MPa
(3) 設計温度	-5~120°C
(4) 耐圧試験圧力	3.9MPa
(5) 気密試験圧力	2.35MPa
(6) 接続仕様	JIS20KRF
(7) 本体材料	FCD-S

注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

5. 構造と特長

- (1) このバルブは流体圧により、弁体が持ち上げられ開となり、逆流が起きたとき弁体が下がり、閉となる構造となっています。
- (2) シート気密は背圧により保持され、シートパッキンは PTFE を使用しておりますので、わずかな背圧で逆流を防止することができます。

6. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないください。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のままで、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにしてください。
- (3) バルブフランジのパッキン座面には、フランジガードが貼ってありますが、砂、ゴミ等が入り漏れ及び故障の原因となりますので、取付け直前まで取り外さないください。また、配管取付けの際は必ず取り外してください。

7. 配管要領

- (1) 取付けの際は、配管内およびフランジ面の切粉、溶接スパッタ、スケール等を充分清掃してください。
- (2) 逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示によって方向を確かめて配管してください。
- (3) 取付け姿勢は水平とし、ボンネット側を上に向けてください。
- (4) バルブを配管する際には、フランジのパッキン座面に貼ってあるフランジガードを必ず取り外してください。
- (5) バルブフランジと配管フランジの間に、流体に適合したシーリング剤を塗布したガスケットをずれのないように正しい位置に挟み込んで、取付けてください。
- (6) フランジボルトは、対角線上のものから交互に均等な力で締め付け、片締のないように注意してください。
- (7) バルブは自重および操作時の力によって、配管または取付け部に無理な荷重がかからないように、バルブまたは配管を支持してください。
- (8) バルブは、配管の膨張、収縮、地盤沈下、地震などによって無理な力を受けないように取付けてください。

8. 使用上の注意

逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示により方向を確かめて、間違いの無いように取付けてください。

9. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行ってください。

- (1) ボンネット部からの漏れは無いか。漏れがあった場合は、分解組立要領にしたがってガスケットを交換してください。

その他、高圧ガス保安法の適用を受ける場合は、法規上の規定に基き検査を実施してください。また、検査を行う際は、JLPA501 LPガスプラント検査基準・貯槽付属品の検査に準拠して行ってください。

10. 分解・組立要領(部品 No.は構造図を参照してください。)

10.1 分解要領

- (1) 残ガスの置換を行ない、内圧がゼロであることを確認して、配管よりバルブを外してください。
- (2) ⑧押えナットを緩めて、⑥ボンネットを外し、⑦ガスケットを外してください(80Aの場合は⑩ナット、⑦ボンネット、⑥ガスケットを外します)。このとき、ボンネットおよびボディのシール面に傷を付けないように注意してください。
- (3) ②弁体組品を取り出します。
- (4) ⑤Uーナットを緩めて、④ワッシャー、③シートパッキンを分解します。

10.2 組立要領

- (1) 組立に先立ち、各部品について点検し、有害な腐食、変形、きずなどのあるものは新品と交換してください。
- (2) 組立は分解と逆の手順で行いますが、作業中バルブ内にごみ、埃などが入らないように注意してください。
- (3) ⑦ガスケットおよび、③シートパッキンは新品と交換してください。
- (4) ガスケットには、シール剤を塗布しないでください。
- (5) ③シートパッキンの表面には、流体に適合するグリースを少量塗布してください。

11. 交換部品

分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用してください。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。

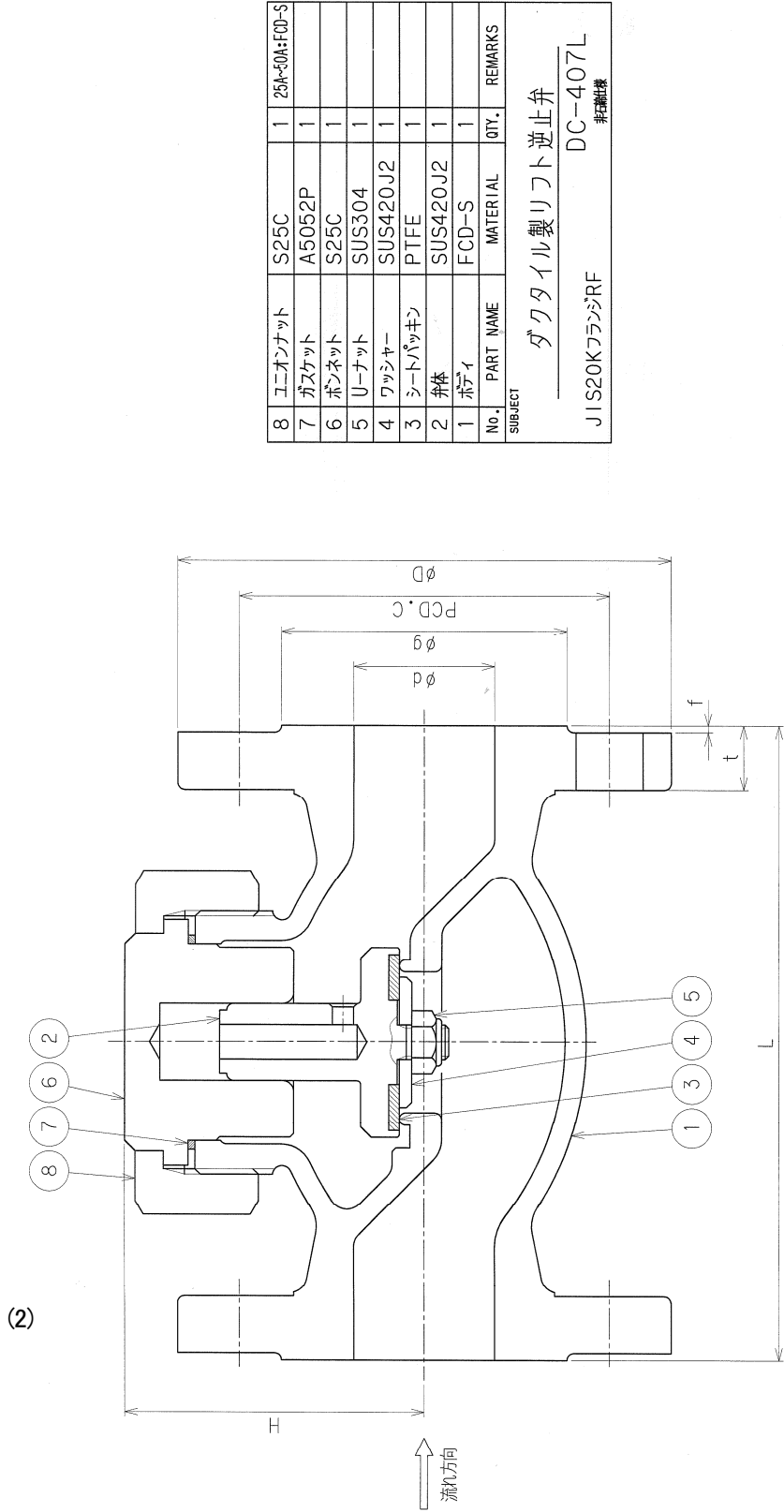
12. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

13. 構造図

(1) 15A~50A

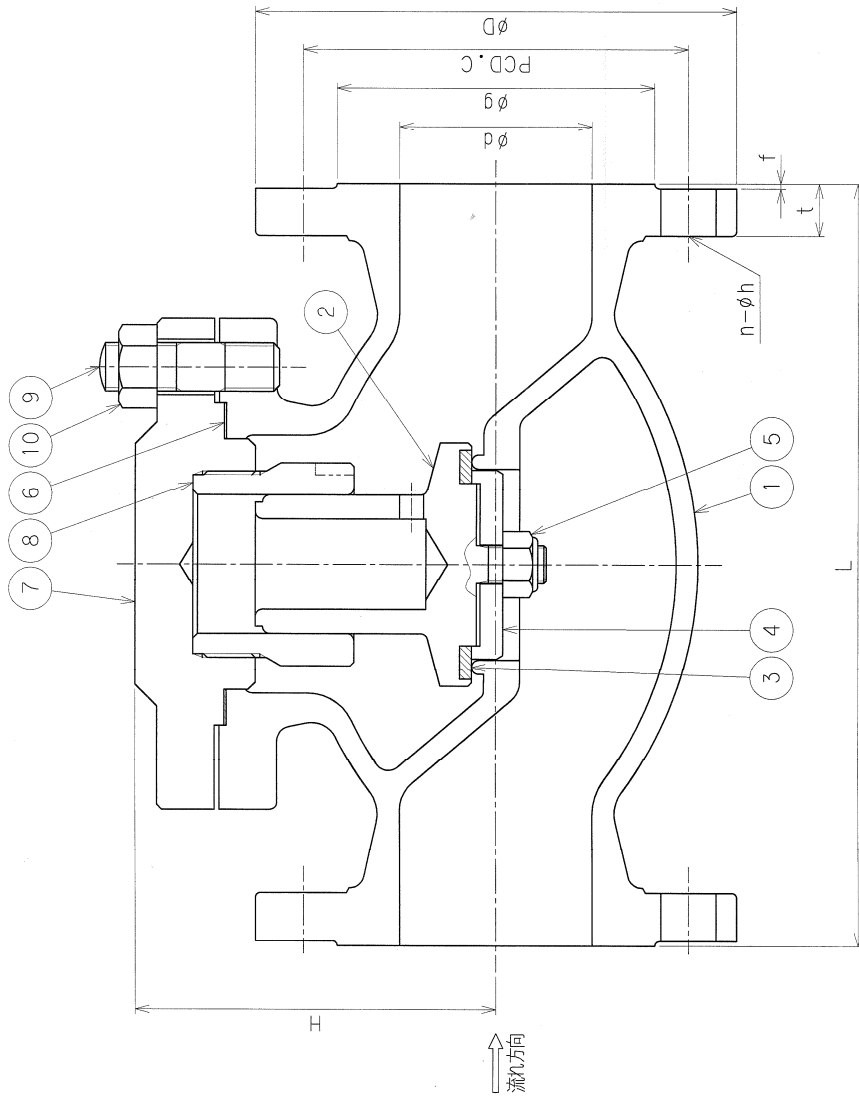


No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS
8	ユニオンナット	S25C	1	25A~50A:FCD-S
7	ガスケット	A5052P	1	
6	ボンネット	S25C	1	
5	U-ナット	SUS304	1	
4	ワッシャー	SUS420J2	1	
3	シートパッキン	PTFE	1	
2	弁体	SUS420J2	1	
1	ボディ	FCD-S	1	

SUBJECT
ダクタイト製リフト逆止弁
DC-407L
新設計機
JIS20KフランジRF

呼び径	d	L	H	D	C	g	t	f	n-h
15A	15	110	57	95	70	51	14	1	4-15
20A	20	120	60	100	75	56	16	1	4-15
25A	25	130	65	125	90	67	16	1	4-19
40A	40	180	85	140	105	81	18	2	4-19
50A	50	230	100	155	120	96	18	2	8-19

(2) 80A



呼び径	d	L	H	D	C	g	t	f	n-h
80A	80	318	150	200	160	132	22	2	8-23

No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS
10	ナット	SWCH10R	8	
9	横込ミボルト	SWCH25K	8	
8	ブッシュ	SUS403	1	
7	ボンネット	SF440A	1	
6	ガスケット	PTFE	1	
5	U-ナット	SUS304	1	
4	ワッシャー	SUS403	1	
3	シートパッキン	PTFE	1	
2	弁体	SUS420J2	1	
1	ボテイ	FCD-S	1	

ダクタイル製リフト逆止弁

80A-JIS20KフランジRF DC-407L

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984